

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇R7年度「札幌市の共通指標」の結果から、「自分の目標をもって生活している。」「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。」「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある。」などの自己評価が高く、本校の子どもたちが向上心を持ち、友達との協働的な学びを通して互いに高め合うことが分かった。</p>
	<p>◇R7年度「札幌市の共通指標」の結果から、「自分の意見を進んで発言しようとしている。」「疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている」などの自己評価が低い傾向があり、「自分の考えをもち、相手に発信する力」および「課題解決に向けて、試行錯誤しながら粘り強く取り組む力」に関して課題があることが分かった。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇R7年度「札幌市の共通指標」の「自分にはよいところがある。」等の相互承認に関連する項目や、「人のよいところを見付けようとしている」「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。」「学習で困っている友達に声を掛けたり一緒に考えたりするようにしている。」等の協働に関連する項目の肯定的な回答のポイントが高く、普段の学習活動において協働的に学ぶことができるような授業づくりや、相互評価で互いのよさを価値付けしていくような取組を行ってきた成果であると考え。さらに、そのことが「できた。」「分かった。」という実感として自己肯定感に結び付いていくような学習活動を目指していく。</p>

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付ける

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 研究主題「あなたと創るわたしの学び」の実現のため、低・中・高学年ブロックごとに、部内研・全校研に取り組む。</p> <p>(2) 「見通しをもち、自ら学びを進める姿」を求めて…</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に単元全体での問いをもって学ぶ ・自分で計画を立てて学ぶ。 既習を生かし、問いの解決方法を自ら考え、見出す（自己決定） <p>(3) 「考えを伝え合い、「わたし」の学びを深める姿」を求めて…</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えをもち、進んで発信する。 互いの考えを理解し、認め合う。 →目的意識、場の設定、教師の関わり 	<p>①学校生活の課題について自分たちで解決していくための、学級活動、学級会、委員会活動の充実</p> <p>②更によいものを目指す前向きな思考を生み出すための「振り返り」の機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> →学習、行事等、様々な教育活動後に必ず実施。また、その「振り返り」からのフィードバックを次に生かせるようなサイクルの実現。（失敗から学ぶ機会） <p>③みんなのよさに着目して自ら行う「相互評価の取組」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> →例) 運動会や学習発表会の交流カード <p>④さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> →パートナー校との交流・協議の場の設定
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇主に(2)や(3)、①について、複数のツールの中から児童が自ら選択できるような環境を整備するとともに、各ツールの利点などの特色について事前指導の機会を設ける。</p> <p>◇主に④について、Googleformで各自の意見を集約し、可視化するなど、一人一人の意見や考えが反映するシステムを生かすことや、パートナー校との連携のために、オンラインミーティングの機会を作り、子ども同士の声をつながられるようにする。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

